

大源太川第1号砂防堰堤補強工事現場を

湯沢学園(湯沢小学校4年生 42名)と
地元町内会の皆さんが見学されました。

大源太川第1号砂防堰堤は、昭和14年に魚野川支川大源太川に建設された砂防堰堤で、本体表面の石積みとアーチ構造が織り成す美しい歴史的な景観から、平成15年に登録有形文化財に登録されています。

一方、完成から79年が経過し、堰堤の老朽化が著しいため補強が必要となり、平成26年度より補強工事を実施しています。工事では、7月から大源太湖の湖水を仮排水トンネルへ転流する計画となっています。

今回、転流を行う前に、湯沢学園の小学生や地元町内会の皆さんを対象とした、現場見学会を実施しました。普段見ることが出来ない工事現場を見学したほか、クレーンの搭乗体験や土石流の3D体感したり、熱心に勉強されていました。



トンネルの出口まで見学
しました。



補強工事が進む
大源太第1号砂防堰堤



クレーン車にも乗ったよ。



挨拶や説明もしっかり聞いて
勉強しました。



パンフレットは、家族の
人とみてくださいね。
記念品は小学校に帰っ
たからのお楽しみ！



土石流3D体感しました。
こわかった...